

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	スナック（経営者）	来客数の動き	・まだ宴会は余りないので売上ベースではやや厳しいが、フリーの客が戻り始めたことで、少し明るい気持ちになっている。忘年会ができれば良いのだが、少しだけ日常が戻ってきている。
	◎	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が激減したため、旅行のリベンジ需要が動き始めている。県民割引があるので県内からの客の動きが大きい。また、割引はないものの、首都圏からの客も動いている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、人の動きが活発になっているのが分かるほど、週末を中心に来客数が伸びている。しかし、法人や団体利用は、以前よりは伸びてきているものの、まだ新型コロナウイルス発生前とは言い難い状況である。ここ1年ほどでは、格段に良くなってきているが、以前のように戻るのはまだ先のようにも感じている。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・3か月前の9月と比べて、一般宴会のデータだが、売上は150%となっている。また、宴会の件数もプラス50件となっている。11月は飲食を伴う宴会が徐々に増えてきている。
	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・前年の秋は来客数が新型コロナウイルス発生前に向けて回復傾向となっていた。今年も来客数は徐々に回復傾向であり、前月よりも新型コロナウイルスの新規感染者数は減少している。それに伴い、景気も回復傾向にある。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は生前予約が多い。直葬や永代供養墓の予約等である。また、相談件数も非常に多かった。年金生活の方が、値上げラッシュでこの冬が本当に大変だということがよく分かる。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・今月に入り観光客の姿が多く見られる。
	○	百貨店（店長）	販売量の動き	・ここに来て、来店客、売上共に増えている。
	○	スーパー（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上は13%減で、来客数は11%減となっている。新型コロナウイルスの新規感染者もいなくなり、イベントも行われるようになってきている。11月末の週末には中学校の部活用の弁当注文を2年ぶりに受けた。担当の先生からは、「水害と新型コロナウイルスの影響で大会が開けなかった」と聞いている。感染拡大第6波が来ず、ワクチンも3回接種すれば、景気は良くなるのではないかと。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・11月は、来客数が前年を超えている。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者の減少や年末商戦もあり、やや良くなっている。
	○	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが収まり、外出需要が増えたため、やや良くなっている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・全国的に新型コロナウイルスの感染が収まっており、少人数ではあるが会食の機会も増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せ、人流が増えてきている。
	○	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者が減少し、来客数が増加してきている。団体での問合せはまだまだであるが、個人客の量が明らかに増加している。個人型のリベンジ旅行の需要は増加傾向である。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・紅葉シーズンで個人客は増加したものの、旅行会社のツアーは戻っていないため、団体客が少なく、大きな伸びにはなっていない。
○	その他サービス [貸切バス]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、客の動きが出てきている。	

□	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・自治体のプレミアム付商品券発行により、商材が多少動き始めたものの、全体的な動きは良いとはいえ、相変わらず厳しい状況は続いている。
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲が感じられず、動きも余り良くはない。
□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後も、客に大きな動きはみえない。
□	スーパー（副店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスが2年以上続き、まだ解決策がない状況であり、さらに新変異株が発見され、事態が良くなる見込みがない。景気についても、実際のところ現状維持が精一杯かと思う。
□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて、きっと良い方向に向かうとみている。ただし、新変異株が出てきており、今後どうなるか分からないので、予測が付かない。
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍での生活が身に付いたのか、余り外出はしない上、スーツへの消費も控えているようである。9～11月は少しは忙しくなると思っていたが、まるで来客数が増えていない。
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・集客状況は前年比8割で推移している。
□	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者も減ってきて、客の動きは回復基調にある。ただし、原油価格高騰を背景に、消費は節約志向が強く、景気は変わらない。
□	タクシー運転手	販売量の動き	・ここ1週間くらい、やや上向きになっているが、先は分からない。
□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・高齢者世帯の保留や解約が増加している。
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・CMや広告物の効果で多少の反響はあるものの、大規模なイベントはまだ自粛傾向にあるため、大きな集客アップにはつながっていない。
□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・県下の新型コロナウイルス新規感染者は少なく、天候も安定しているため、最近では平日に年配者のほか、若い方、女性プレーヤーも増えてきている。
□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼はあるものの、なかなか計画が進まない物件が多い。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、そう簡単には解消されず街への人出は全くない。催事の福袋は人気だったが、街には滞留せずには客は福袋を手に入れたと、さっと帰る人がほとんどである。
▲	商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスもある程度落ち着いてきたので、クラブ活動等も多少は始まるかと期待していたが、感染状況が多少落ち着いてきたのに店に来て買物する客はこんなにも減ってしまったかと思うくらいで、驚いている。早く以前のように戻れば良い。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前月からだが、朝から昼のピーク時間がなくなり、夕方も一時的に良い時間帯もあったのだが、大分減ってきている。客の流れが厳しい状況で、現在はやや悪くなっている。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足の影響で新車供給が滞っている。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、月の目標に若干だが届かない。車両販売は、新車納期の遅れやそれに伴う中古車価格の上昇により販売が伸び悩んでいる。新型コロナウイルスの新規感染者の減少で、車で遠くに出掛けるために、早い段階からスタッドレスタイヤが売れている。
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・正直なところ、よく分からない。この新型コロナウイルス禍でも、店が増えたりする場所もあったり、いろいろな動きがある。
▲	設計事務所（経営者）	単価の動き	・単価上昇と資材納入の遅れで、工事発注が停滞している。
×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向ではあるものの、客の動きは活発になっていない。依然として団体予約のほとんどない状況が続いている。

企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業 (総務担当)	取引先の様子	・半導体不足で、良くなっている。
	◎	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・宝飾関係の様々な催事や展示会で、集客は前年比を大幅に上回ってきている。売上が前年比130%といった催事も珍しくない。
	○	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量 の動き	・首都圏の新型コロナウイルスの感染状況も沈静化しつつあり、人の動きも大分活発になってきている。来県者も急激に増加し、当社への来場者も戻りつつある。11月3日より県産新酒ワインが解禁となり、前年を上回る出荷量となっている。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比べて、受注量や新規案件がやや増えている。
	○	建設業(経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・今後も、新型コロナウイルスの新規感染者が減少していく、外出や遠出する人が徐々に増えるのではないかと。売上も回復すると思うが、物価の上昇、納期の遅れが心配である。
	○	金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・緊急事態宣言解除により、経済が少しずつだが正常化に向かっている。
	○	新聞販売店[広告] (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の心配はあるものの、人の動きは活発になってきており、折込チラシの出稿も徐々に回復してきている。旅行の問合せも増えて、通常とはいかないまでも回復の兆しはある。
	□	食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量 の動き	・ホテル等の宿泊関係や飲み屋からの発注が週1回程度であったのが週4回程度になって、確実に増えてきている。一方、スーパー等からの発注数量は減少傾向にあり、全体的には伸びていない。
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・年末商戦に向け、少しは受注量が上向くものの、本調子ではない。
	□	窯業・土石製品 製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたためか、ワークショップの予約は多少増加している。ただし、製品受注は依然低迷している。
	▲	金融業(調査担当)	受注量や販売量 の動き	・K字型の回復が続いてきたが、製造業では半導体不足の影響が生じているほか、原材料価格の上昇や品不足で生産ができない状況にある。観光関連は上向きつつあるが、消費者の慎重姿勢が続いており、力強さはみられない。
	×	*	*	*
	雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
○		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・飲食店に活気が出てきているので、やや良くなっている。
○		職業安定所(職員)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大が終息に向かっ、人の流れが出始めたため、やや良くなっている。
□		人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・各企業とも、中長期採用計画がないまま募集活動をしている。求職者もそれを知っているのか、働く意欲が湧かずに単発や短期業務についており、長期の業務につかない方が多いようである。
□		求人情報誌製作 会社(経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少してきているものの、求人募集には慎重で、募集広告を掲載する企業数は横ばいである。
□		職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者の減少により、宿泊や飲食業に活気が戻ってきている。事業所にヒアリングをすると、製造業や運送業を含めた広範囲の業種で、原油価格、金属、資材等の価格高騰の影響が出ているという声を聞くため、変わらない。
▲		—	—	—
×	—	—	—	